
Beach Volleyball Exhibition Match



Crown of the beach

Playbook.1

2026.6.21

What's Crown of the beach!?

2018年頃、オランダ・ユトレヒトでKING of the courtという試験イベントが行われ、FIVB/Volleyball Worldが連携し国際大会化しました。
現在はQUEEN&KING of the COURTとしてシリーズ化し、世界各地で実施されています。

Crown of the beachは、KING of the courtをモデルに日本独自のフォーマットで開催しています。



ユトレヒト大会
©FIVB

Crown of the beach方式について

日本で行われるこの大会は海外で行われているQueen & King of the courtとは異なりVolleyball Worldが管理するものではありません。

【システム】

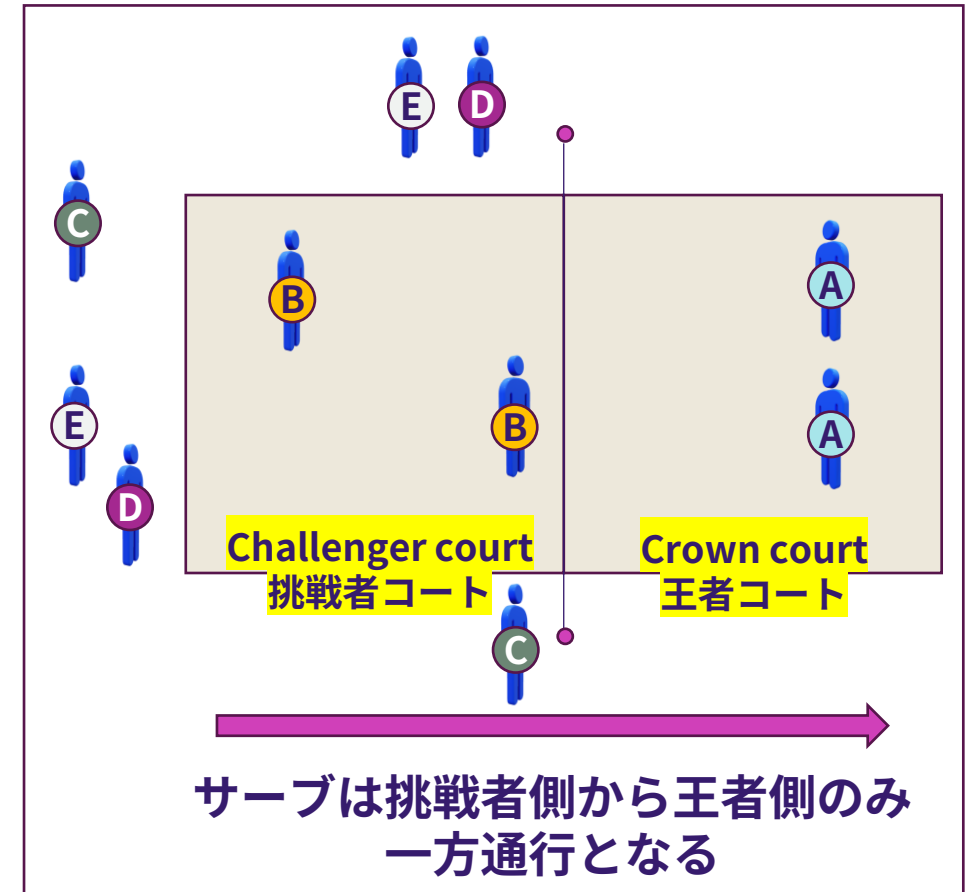
複数のチームが同時に競技をおこなう
右図は5チームの場合

AチームがいるサイドをCrown courtとし
得点はCrown courtでしか加算されない
Challenge courtからの移動時にポイントは発生しない
Crown courtには1チームのみが滞在できる

B～Eチームは事前にサーブ順を決めその順に競技をおこなう

B～EチームがCrown courtに移動するためには自チームの
サーブ時にブレイク（得点は入らないが得点をする行為）をする
ことでCrown courtに移動することができる

ブレイクできないチームはCrown courtに移動できずポイントを
獲得することができない



Crown courtで得点を続けることがCrown of the beachへの道となる



RULE

— 大会ルールについて



Roundについて

各Roundには制限時間とノックアウトポイント（KOポイント）が設定される。
3Round制もあれば1Roundのみの場合もある。

◆マッチスケジュールに「Limit12min」「KO10pt」と、記載されている場合
そのRoundは12分で試合が終了、または12分以内に10点を獲得したチームが現れたタイミングでゲームセットとなる。
よって、試合時間が残り5分のタイミングであっても10点をとればゲームセット（Crown）となる。
Roundの順位はゲームセット時のポイント順となる。

KOポイントを達成しなかった場合には、12分後のポイント獲得順位をRoundの順位とする。

順位により、進出先がWinners Round／Losers Round等に分かれる。
詳細はマッチスケジュールに記載の通り、固定された進出先になる。
原則的にシードを用いるが、総当たり戦などにおいては一部イレギュラーな組み合わせも生じる。

①抽選

Group Roundなど単独のRoundはスタート時にカードによるCrown courtの抽選、サーブ順の抽選をおこなう。Roundが継続する場合はRankに合わせてCrown courtの権利、サーブ順を決定する。ただし複数のチームが加わる場合にはカードによる抽選とする。

②サーブ

チーム内におけるサーブ順を設けない。よって1人の選手がサーブを打ち続けることを可能とする。
サーブミスは1プレーとし、サーブの打ち直しはできない。
サーブミスはCrown courtチームへの得点にカウントしない。
タイミングはサービスのホイッスルを起点とする。ホイッスル後にタイムアップを迎えてもプレーは続行できる。
サービスホイッスルからサーブを打つまでの時間は6秒以内とする。
Crown courtからChallenge courtに移動したときのサーブ順はChallenge court内における最後尾とする。
サーブの連続ミスによる加点を採用しない。

③タイムアップについて

00:00になるまでを競技時間内とする。
仮に00:01でブレイク／サイドアウトした場合には、次のプレーまで6秒あるが、1プレーのみLucky Timeとして継続する。

④ボールデッドからサーブまでのプレー時間

原則としてラリー終了後は次のサービスホイッスルまでを円滑にするためコート内のチームは速やかにコート移動またはコートアウトすること。

全てのRoundにおいてボールデッド（レフェリーの笛）から次のサービスホイッスルまでを6秒とする。故意（休息など）に6秒を越えるような対応をした場合、Crown courtのチームはChallenge courtへ降格、Challenge courtのチームは次のチームへサーブの権利を譲渡する。

⑤タイムアウト

今大会はタイムアウトを設けない。

⑥ボールマークプロトコル／チャレンジシステム

今大会では使用しない。すべてのジャッジは主審の判断とする。

⑦公式練習

原則、公式練習の時間は設けない。
抽選が終わったあとすぐに試合となる。

⑧インターバルについて

セット間、マッチ間をそれぞれで設定する。
男女の転換が発生した際には10分～15分のネット張替え時間を設ける。

⑨Rank

獲得したポイント順に応じてチームはRank付けされる。

同点の場合にはCrown courtに入った回数の多いチームを上位とする。

抽選後または前のRoundからコート、サーブ順が決定しておりゲームスタート時にCrown courtから始まったチームはサイドアウトが切れず獲得ポイント0だったとしても滞在回数を「1」とする。

同じ5点を獲得したAチームとBチームがいた場合

Aチームが5点を獲得するまでにCrown courtに入った回数が1回、Bチームは2回で合計5点を獲得したとすればBチームを上位とする。

仮に同じ5点を獲得し滞在回数も同じだった場合

1度の滞在時に、より多くの連続ポイントを獲得したチームを上位とする。

それでも同じだった場合

抽選カードの上位順とする。

Rank上位順は上からCrown→1→2→3→4とする。

仮に前のRoundからコート、サーブ順が決定している場合にはそれに準ずるものとする。

1度もCrown courtに入ることができなかったチームが同Roundに2チーム以上発生した場合
前述した運用に準ずる。

⑩プレー中のInjury（怪我）について

複数のチームが同時に競技をおこなうため、Injuryの制度は設けない。

その場合、プレーを中断／中止するかはチームの判断とする。

当該チームがプレーを中断してもRankをつけるため他チームは制限時間またはKOポイントまで試合をおこなう。

中断時は他のチームがInjuryチームの順番をパスする形でおこなう。

競技に復帰する場合、記録席（タイマー席）にて競技委員に復帰を申告すものとする。

競技委員からChallenge courtの中で最後尾の位置を指示されたあと、ボールデッド中にファーストレフェリーに復帰を宣言する。

仮に3チームで競技を行っているときにinjuryが発生し1チームが中断状態となった場合には、プレー時間の6秒を状況に合わせ12秒または15秒などに延長するものとする。

もしも、同時に2チーム以上がInjuryとなり1チームのみがコートに残った場合には、そのチームをRank1とする。そして残り時間の有無に関わらずそのRoundはその時点で終了する。

Rank2以下の順位は⑨で記載した順に則る。

⑪移動／待機場所について

Crown court、Challenge courtからの移動に対してルールは設けない。

ネット下、時計回り、反時計回り全て可能とする。

Challenge courtにおける待機位置もコートエンド、コートサイドどちらでも可能とする。

ただし原則 6 秒間のインターバルで試合が進むため待機位置には注意すること。

⑫ボールリトリバー

ボール拾いのみ配置する。

ボールはChallenge courtのコートエンドに複数球を出した状態でプレーする。

⑬Crownコートの位置について

当日の風向きによってサイドを決定する。

Crownコートにおいて、明らかに風下と判断された場合その位置は変更する可能性がある。

判断は大会実行委員会にて決定する。

⑭給水

選手はChallenge courtにおける待ち時間、またはプレー間にあたる 6 秒の間において自由に給水をおこなうことができる。仮にCrownコートの選手が給水のため 6 秒を過ぎてコートにいなかった場合にはサービスの準備ができていなくてもホイッスルが吹かれるものとする。

プレーに障害のでない範囲で飲料水（マイボトルなど）をコートサイド・エンドに置くことを認める。

⑮ サングラスを拭く、口や目に砂が入った場合の対応

給水同様にChallenge courtにおける待ち時間、またはプレー間にあたる 6 秒の間においては自由におこなうことができる。

ただし、プレーを継続することが困難な状態とレフェリーが認めた場合に限り、1 回のRound中に 1 度だけ競技を中断しタイマーを止めることができる。

原則は 30 秒とするが、最終的な判断はファーストレフェリーがおこなう。

⑯ 天候不順

試合の中断が発生し競技の進行が予定通りにおこなえない可能性がでた場合、競技形式を変更して試合をおこなう。

例としては、時間・得点を減らす、または 1 つのRoundにおけるチーム数の変更の可能性がある。

⑰ 記載の無いルール／今後の運用について

大会の中でここに記載のない事象が発生した場合、大会実行委員会において円滑な解決を図る。

この大会はあくまでも日本国内における独自の大会である。

今後、同様の大会を開催するときに今大会の内容が踏襲されるとは限らない。

この大会のルールはどこにも帰属しないものとする。

⑱ この大会は公式戦ではなく、エキシビションマッチである。



BVT JAPAN
BEACHVOLLEYBALL TOUR